



学習評価が変わります②

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に整理した観点別学習状況については、観点ごとにA、B、Cで評価します。「十分満足できる」状況と判断されるものをA、「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB、「努力を要する」状況と判断されるものをCと表します。

評定は、各教科の観点別学習状況の評価を総括した数値を示したものです。評定は、生徒が度の教科の学習に望ましい学習状況が認められ、どの教科の学習に課題が認められるのかを明らかにすることで、学習状況の把握と指導や学習の改善に生かすことを可能とするものです。

観点別学習状況の評価の評定への総括は、学期末や学年末に行います。中学校では5段階で表します。中学校学習指導要領等に示す各教科の目標に照らして、その実現状況を「十分満足できるもののうち、特に程度が高い」状況と判断されるものを5、「十分満足できる」状況と判断されるものを4、「おおむね満足できる」状況と判断されるものを3、「努力を要する」状況と判断されるものを2、「一層努力を要する」状況と判断されるものを1と表します。

A、B、Cの組合せから評定に総括する場合、各観点とも同じ評価がそろう場合、「BBB」であれば3を基本としつつ「AAA」は5又は4、「CCC」は2又は1とするのが適当となります。

学習の実現状況には幅があるため、機械的に評定を算出することは適当ではない場合もあります。

わかりづらい点もあるでしょうか。大切なことは、生徒のみなさんが自分の学習状況を日頃から先生に確認し積極的に改善していくことです。先生との対話を大切にしながら、望ましい学習状況の実現に向けた評価の捉え方をしましょう。

東和中学校 毎朝の光景

東和中学校では、毎朝8時30～40分に朝の読書活動、通称「朝読（あさどく）」を実施しています。朝読は、1日のスタートを落ち着いてスタートする、読書が好きになる、国語力（読解力、想像力、語彙力）をつけるといったことをねらいとしています。

朝読には4つの約束があります。

- 1 みんなでやる
- 2 毎日やる
- 3 好きな本でよい
- 4 ただ読むだけ

生徒も先生も全員が同じ時間に同じ条件で取り組む公平さを基本

としています。1日10分という短い時間ですが、毎日行うことを大切にします。マンガや雑誌、教科書等は除きますが、好きな本を自分で選びます。感想を書いたり、評価されたりするのではなく、ただ本を読む充実した思いを大切にします。昨年度は、コロナ禍による分散登校等のため、年度当初から「みんなでやる」ことができませんでしたが、今年度は、朝のすがすがしい空気の中、集中した静かなときが学校をスタートさせています。めちゃめちゃ元気なときと静かなとき。一瞬で空気を変えることができるのは素晴らしいことです。朝読を続けることは、けじめのある行動ができるようになる一つの要因となります。



廊下で読書する副担任の先生



読み浸（ひた）る生徒



教室の中も外も読み浸（ひた）る